

岡山県感染症週報 2011 年 第 51 週 (12 月 19 日～12 月 25 日)

【お知らせ】次回、第 52 週 (12/26～1/1) 感染症週報は 1 月 10 日 (火) にホームページに掲載いたします。

岡山県は、インフルエンザ注意報発令中です。

◆2011 年 第 51 週 (12/19～12/25) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 49 週 2 類感染症 結核 2 名 (30 代 女 1 名、40 代 女 1 名) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

- インフルエンザは、県全体で 642 名 (定点あたり 7.64 人) の報告があり、全域で患者が増加しました。
- 感染性胃腸炎は、患者が増加し、岡山市、倉敷市、備前地域、美作地域で患者が多くなりました。
- マイコプラズマ肺炎は、前週より増加し、患者の多い状態で推移しています。
- RS ウイルス感染症は、前週より減少しましたが、ひきつづき患者が多い状態です。

1. **インフルエンザ**は、県全体で 642 名 (定点あたり 7.64 人) の報告があり、前週 (5.17 人) より増加しました。患者は県全域で増加し、特に倉敷市は他の地域に比べ患者が急速に増加していますので、感染予防に努めてください。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。第 50 週 (12/12～12/18) 速報値によると、全国では定点あたり 1.98 人であり、第 42 週以降増加がつづいています。岡山県は、第 50 週定点あたり 5.17 人であり、全国で 4 番目に高い報告数になりました。
2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、県全体では増加しました (定点あたり 11.09 → 11.41 人)。特に倉敷市・美作地域で増加し、岡山市・備前地域ではひきつづき患者が多い状態です。詳しい県内の発生状況は『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
3. **RSウイルス感染症**の定点あたり患者数は、減少しました (定点あたり 1.30 → 0.93 人) が、ひきつづき患者の多い状態です。1 歳以下の乳幼児では重症化し、合併症を伴うこともありますので注意が必要です。冬に流行のピークを迎える感染症ですので、今後の動向に注意して下さい。
4. **マイコプラズマ肺炎**は、患者数が増加し (基幹定点 5 医療機関あたり 1.80 → 3.00 人)、県内では 9 月頃から患者の多い状態で推移しています。岡山市 (10 人)・倉敷市 (3 人)・備北地域 (2 人) で患者報告がありました。今年は全国的にも過去 5 年と比較してかなり多いと報告されています。[\(国立感染症情報センター 第 49 週 マイコプラズマ肺炎グラフ\)](#) また、マクロライド高度耐性株が急速に増加しているということも報告されています。[\(国立感染症情報センター マイコプラズマ肺炎\)](#)

【データの訂正について】

第 48 週～第 50 週について、データの訂正がありました。

		【誤】		【正】	
		全県		全県	
		報告数	定点当	報告数	定点当
第 48 週	マイコプラズマ肺炎	16	3.20	18	3.60
	クラミジア肺炎	—	—	4	0.80
第 49 週	無菌性髄膜炎	—	—	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎	13	2.60	6	1.20
	クラミジア肺炎	4	0.80	—	—
第 50 週	無菌性髄膜炎	1	0.20	—	—
	マイコプラズマ肺炎	10	2.00	9	1.80

これにともない、48～50 週の各保健所別患者報告数、年齢別患者報告数、グラフを訂正しております。訂正後の表・グラフは感染症情報センターホームページへ掲載しておりますので、ご確認ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★	RSウイルス感染症		★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎		★	無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★★★★	クラミジア肺炎		★★

【記号の説明】

前週からの推移： 2倍以上の減少 1.1～2倍未満の減少 1.1未満の増減

1.1～2倍未満の増加 2倍以上の増加

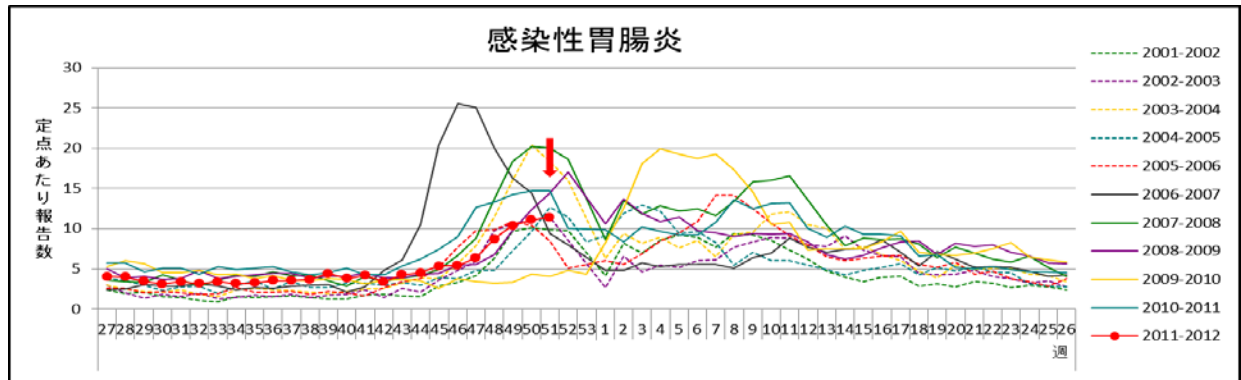
流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当り患者数について、過去5年間の標準偏差値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています。

感染性胃腸炎情報 第 51 週 2011 年 12 月 19 日～12 月 25 日

- 岡山県内の患者報告数は 616 名、定点あたり 11.41 人（定点医療機関 54 定点）に増加しました。
- 岡山市、倉敷市、備前地域、美作地域で患者が多く報告されました。

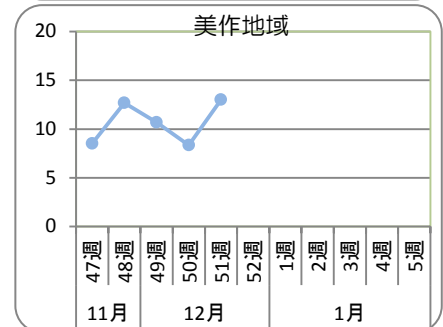
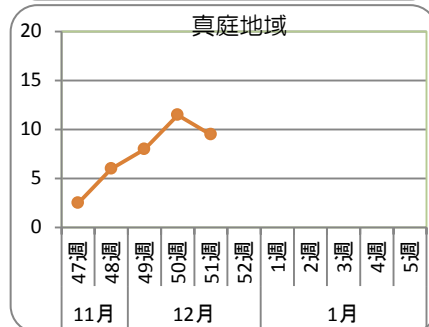
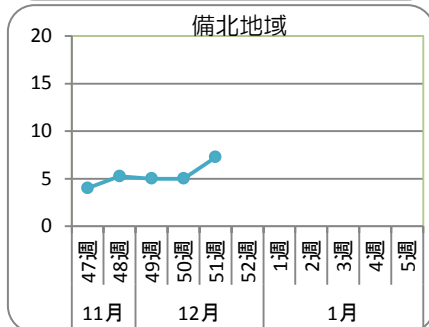
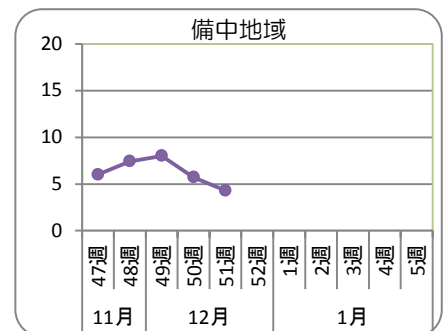
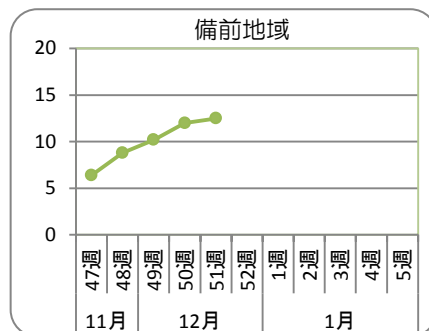
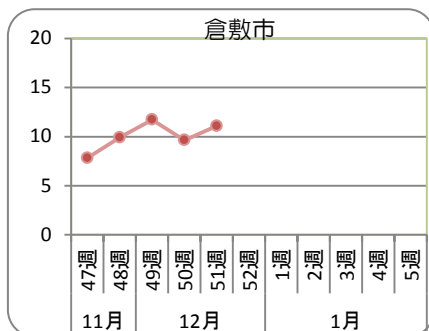
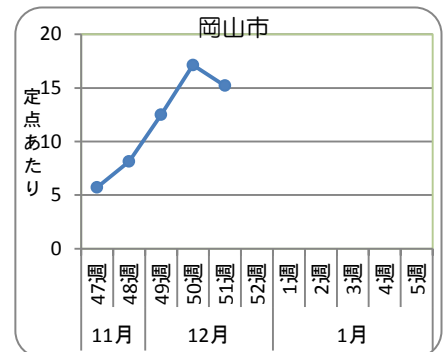
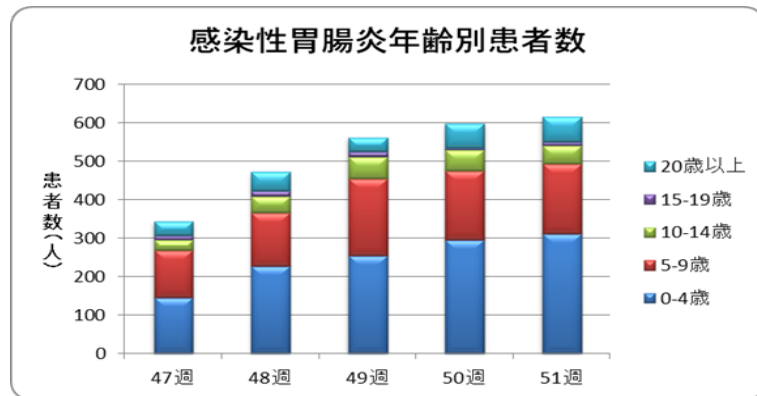


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ～ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、県全体では増加しました（定点あたり 11.09 → 11.41 人）。岡山市（15.21 人）、倉敷市（11.09 人）備前地域（12.50 人）、美作地域（13.00 人）患者が多い状態です。患者の年齢分布は 0～4 歳が全体の約半数を占め、また、0～4 歳のうち、1 歳の患者が 26%と最も多く報告されています。小さなお子さんや、高齢者の方は嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので体調の変化に注意してください。

冬の集団発生の原因はノロウイルスによるものが多いと言われ、現在、岡山県では『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。学校や福祉施設、病院などでは感染が拡大することがありますので注意して下さい。

- ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省）
- ・[家庭等一般の方々へ](#)
- ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)

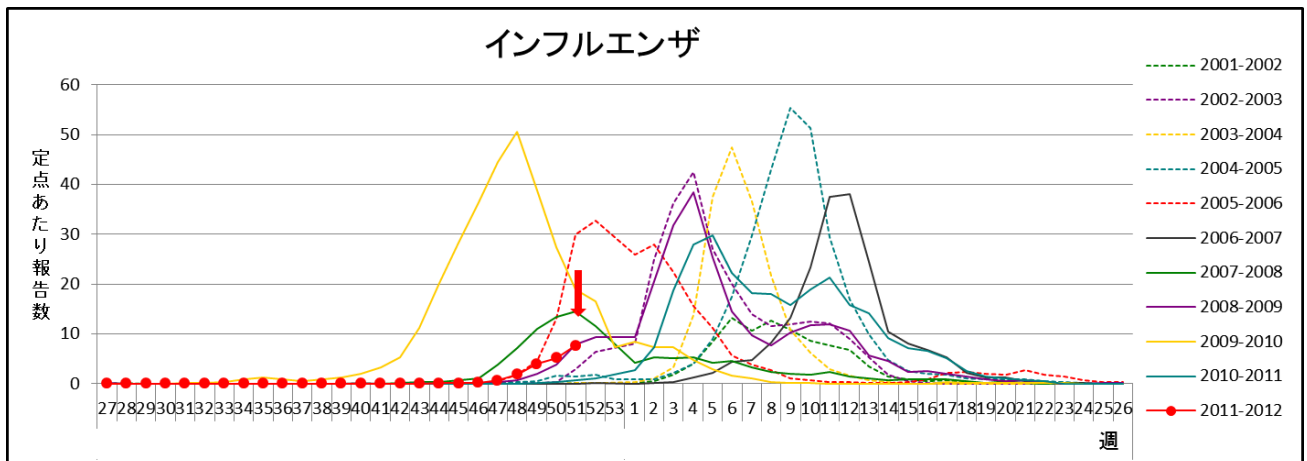


インフルエンザ情報 第 51 週 2011 年 12 月 19 日 ～ 12 月 25 日

岡山県は、インフルエンザ注意報発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 642 名（定点あたり 7.64 人）の報告があり、前週より増加しました。
- 県内全地域から患者報告があり、流行は県全体に拡大しています。
- 倉敷市は、感染症発生レベル 2 であり、患者が急激に増加しています。
- インフルエンザとみられる臨時休業が 13 施設（倉敷市 11、玉野市 1、早島町 1）で報告されました。
- インフルエンザによる入院報告が、1 名ありました。



インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ～ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

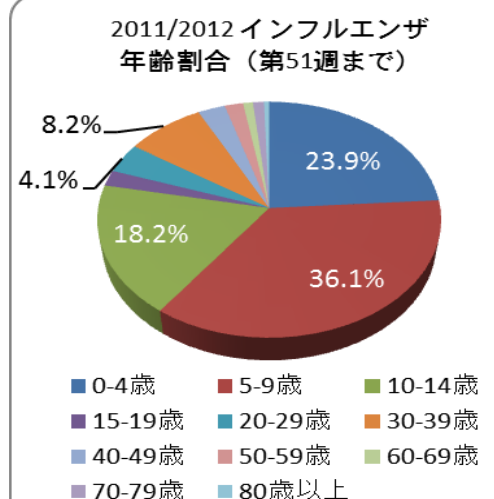
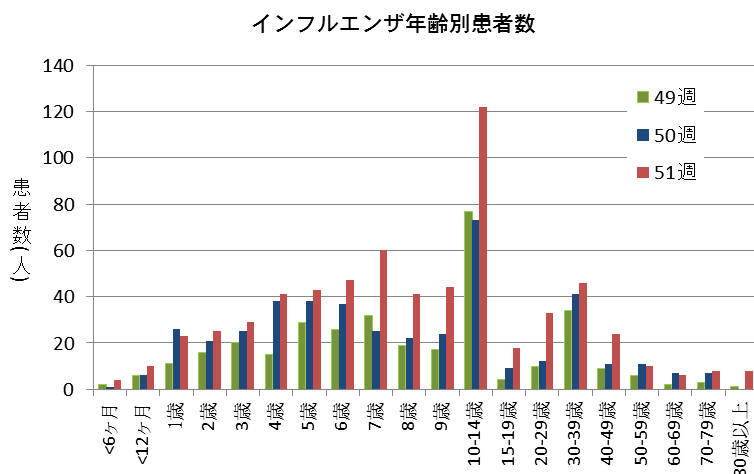
インフルエンザ患者数は 642 名（84 定点医療機関定点あたり 7.64 人）の報告があり、前週（434 人 5.17 人）より増加しました。地域別では、倉敷市（定点あたり 27.75 人）、備中地域（9.00 人）、備前地域（2.27 人）、岡山市（1.73 人）、美作地域（1.20 人）、真庭地域（1.00 人）、備北地域（0.50 人）で、11 月下旬以降報告のなかった備北地域や、今まで報告のなかった真庭地域でも報告があり、流行は県全体に広がりを見せています。倉敷市（前週 18.50 人）は、第 47 週以降急速に患者が増加しており、県全体の報告患者の約 70% を占め、臨時休業も多数報告されています。

第 51 週、インフルエンザとみられる臨時休業が 13 施設、入院患者が 1 名報告されました。

手洗い・うがいを励行する、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど、感染予防に努めましょう。

1. 年齢別患者発生状況 第 51 週（12/19～12/25）

患者は、幼稚園児小学生に該当する年齢が特に増加しました。

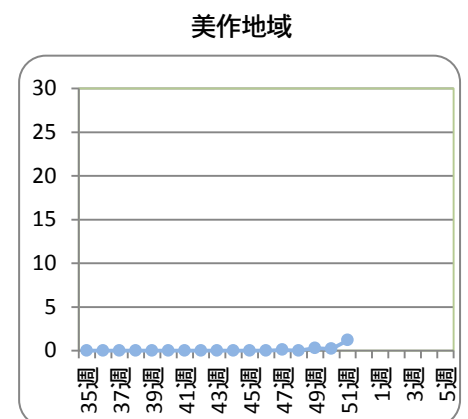
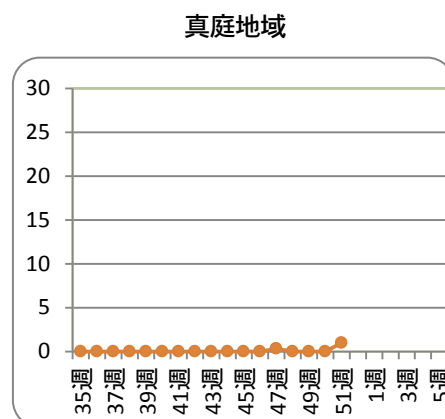
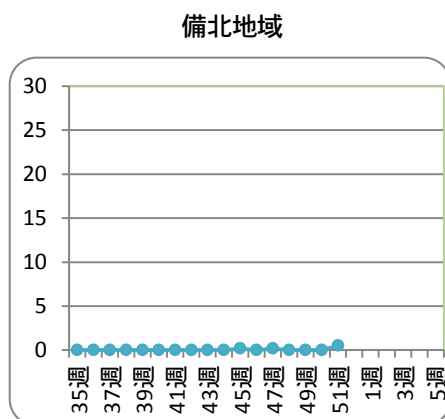
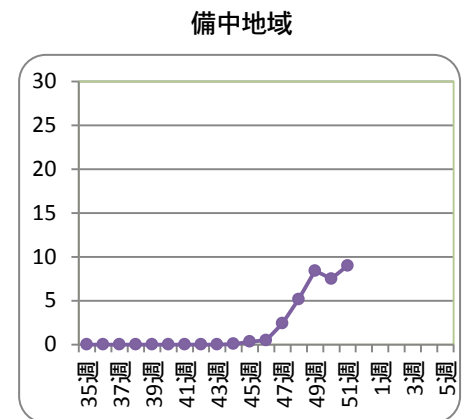
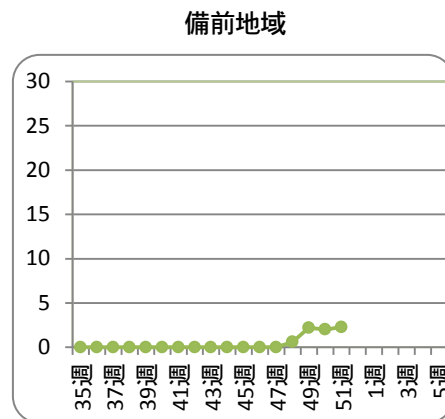
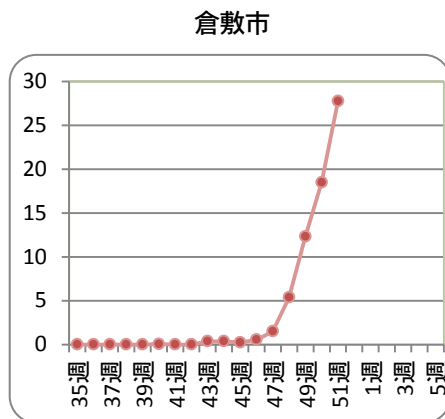
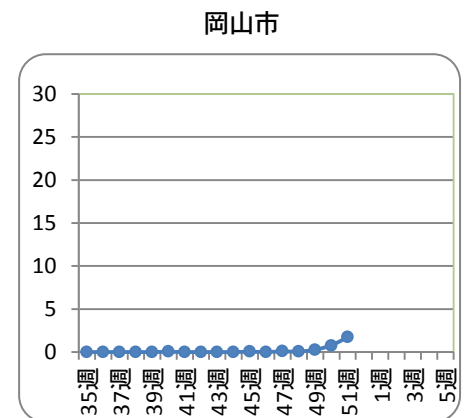
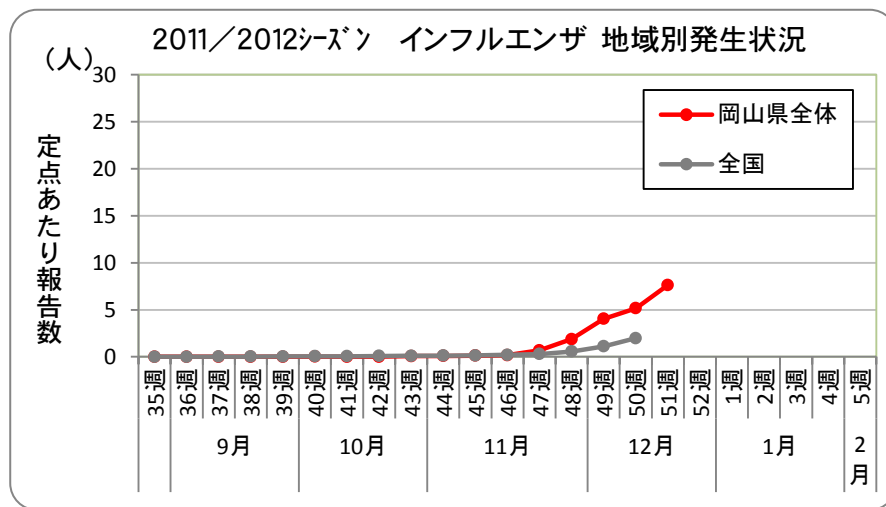


2. 地域別発生状況

第51週（12/19～12/25） 前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	642	▲	備 中	患者数	108	▲
	定点あたり	7.64			定点あたり	9.00	
岡山市	患者数	38	▲	備 北	患者数	3	▲
	定点あたり	1.73			定点あたり	0.50	
倉敷市	患者数	444	▲	真 庭	患者数	3	▲
	定点あたり	27.75			定点あたり	1.00	
備 前	患者数	34	▲	美 作	患者数	12	▲
	定点あたり	2.27			定点あたり	1.20	

【記号の説明】 前週からの推移： ▼ 2倍以上の減少 ▼ 1.1～2倍未満の減少 ▲ 1.1未満の増減
 ▲ 1.1～2倍未満の増加 ▲ 2倍以上の増加



第 51 週（12/19～12/25 まで）に検出されたインフルエンザウイルス

今シーズン第 51 週現在、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3 型の割合が最も多く 89%、B 型が 10.5%、AH1 pdm09 型が 0.5% の順になっており、AH3 型が主流になっています。

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス AH3 型	第 51 週	2011 年 12 月 19 日	玉野市	小学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルス AH3 型	第 51 週	2011 年 12 月 19 日	玉野市	小学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルス AH3 型	第 51 週	2011 年 12 月 19 日	玉野市	小学生	女	集団発生事例



第 51 週までの合計は、有症者数 872 名、うち欠席者数 610 名、臨時休業施設数は 41 施設になり、このうちの約 70% が倉敷市からの報告です。

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

[illegible]

2. 臨時休業施設数の内訳 第51週(12/19~12/25)

第 51 週、学校等の臨時休業は 13 施設ありました。

倉敷市：幼稚園2、小学校9

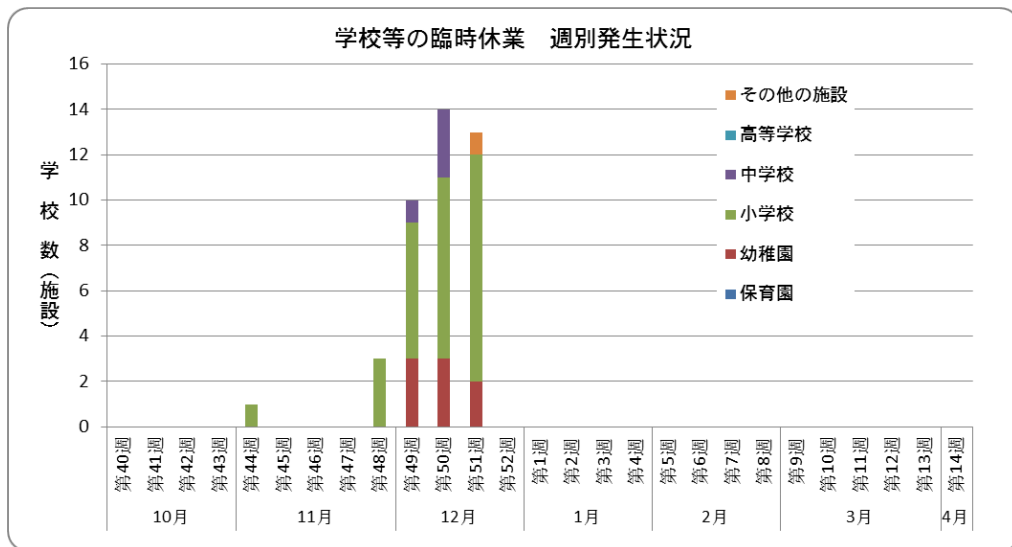
備前地域：小学校1

備中地域 : その他の施設 1

第 51 週：13 施設

累計：41 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累積	今週	累計	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積
施設数	—	—	2	8	10	28	—	4	—	—	1	1



➤ 入院時の状況と年齢別内訳の累計 第 51 週 (12/19~12/25) まで

(県内基幹定点 5 医療機関による報告)

第 51 週、インフルエンザによる入院患者の報告が 1 名ありました。今シーズン、第 51 週までに 3 名の入院患者報告がありました。

* 平成 23 年 9 月 5 日以降に入院した各患者の累計数

[illegible]



レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

保健所別報告患者数 2011年 51週 (2011/12/19～2011/12/25)

2012年1月4日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	642	7.64	38	1.73	444	27.75	34	2.27	108	9.00	3	0.50	3	1.00	12	1.20
RSウイルス感染症	50	0.93	26	1.86	7	0.64	6	0.60	8	1.14	1	0.25	2	1.00	—	—
咽頭結膜熱	5	0.09	3	0.21	—	—	1	0.10	—	—	—	—	1	0.50	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	0.48	4	0.29	13	1.18	—	—	6	0.86	—	—	—	—	3	0.50
感染性胃腸炎	616	11.41	213	15.21	122	11.09	125	12.50	30	4.29	29	7.25	19	9.50	78	13.00
水痘	59	1.09	22	1.57	11	1.00	7	0.70	10	1.43	1	0.25	3	1.50	5	0.83
手足口病	98	1.81	21	1.50	39	3.55	14	1.40	11	1.57	—	—	2	1.00	11	1.83
伝染性紅斑	5	0.09	2	0.14	1	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	2	0.33
突発性発疹	24	0.44	12	0.86	4	0.36	—	—	3	0.43	—	—	—	—	5	0.83
百日咳	1	0.02	—	—	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	0.02	—	—	1	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	46	0.85	24	1.71	7	0.64	4	0.40	10	1.43	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	5	0.42	1	0.20	2	0.50	—	—	2	2.00	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	1	0.20	1	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	15	3.00	10	10.00	3	3.00	—	—	—	—	2	2.00	—	—	—	—
クラミジア肺炎	2	0.40	—	—	2	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 51週 (2011/12/19～2011/12/25)

2012年1月4日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	642	7.64	38	1.73	444	27.75	34	2.27	108	9.00	3	0.50	3	1.00	12	1.20
咽頭結膜熱	5	0.09	3	0.21	—	—	1	0.10	—	—	—	—	1	0.50	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	0.48	4	0.29	13	1.18	—	—	6	0.86	—	—	—	—	3	0.50
感染性胃腸炎	616	11.41	213	15.21	122	11.09	125	12.50	30	4.29	29	7.25	19	9.50	78	13.00
水痘	59	1.09	22	1.57	11	1.00	7	0.70	10	1.43	1	0.25	3	1.50	5	0.83
手足口病	98	1.81	21	1.50	39	3.55	14	1.40	11	1.57	—	—	2	1.00	11	1.83
伝染性紅斑	5	0.09	2	0.14	1	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	2	0.33
百日咳	1	0.02	—	—	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	0.02	—	—	1	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	46	0.85	24	1.71	7	0.64	4	0.40	10	1.43	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	5	0.42	1	0.20	2	0.50	—	—	2	2.00	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第51週 2011/12/19～2011/12/25)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	642	4	10	23	25	29	41	43	47	60	41	44	122	18	33	46	24	10	6	8	8

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	50	15	15	17	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	-	-	-	2	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	-	-	-	1	3	3	1	6	4	4	1	3	-	-
感染性胃腸炎	616	1	24	81	60	79	66	61	47	30	25	20	48	9	65
水痘	59	1	3	15	8	12	7	6	2	2	2	-	1	-	-
手足口病	98	-	2	33	16	17	10	7	7	5	-	1	-	-	-
伝染性紅斑	5	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-
突発性発疹	24	-	11	9	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	46	-	2	2	4	4	7	15	4	1	2	2	1	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	15	1	7	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-

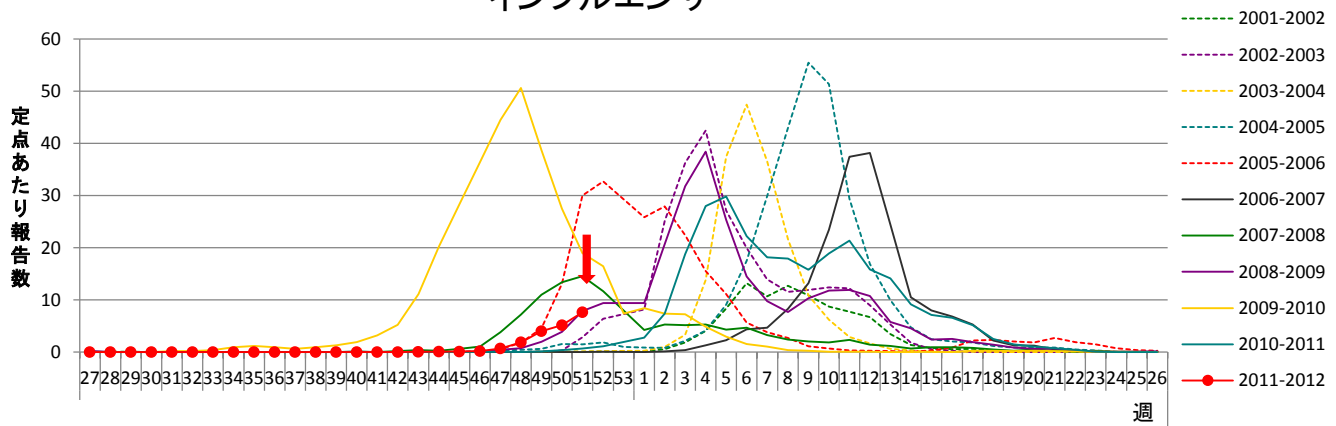
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

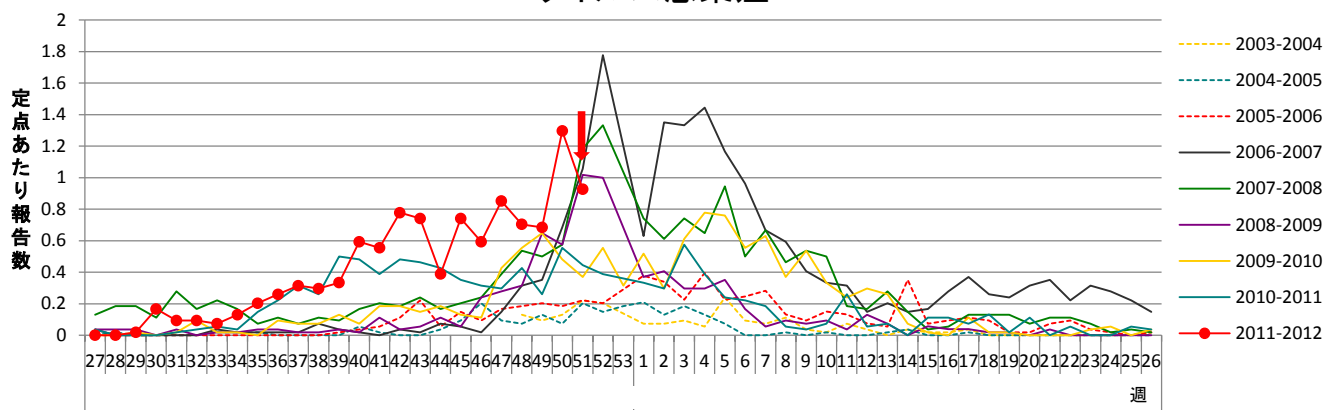
2011 年 51 週

分類	疾病名	2011			2010	2011	2010	2011	2010	2011	2010
		今週	累計	昨年		今週	累計	今週	累計	今週	累計
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱 ペスト	-	-	-	痘そう マールブルグ病	-	-
	南米出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核 鳥インフルエンザ(H5N1)	-	491	352	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-		-	-	-		-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢 パラチフス	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	64
	腸チフス	-	-	-		-	-	-		-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱 黄熱 回帰熱 狂犬病 腎症候性出血熱 炭疽 デング熱 ニパウイルス感染症 ハンタウイルス肺症候群 ブルセラ症 発しんチフス 野兎病 リフトバレー熱 レプトスピラ症	-	-	-	A型肝炎 オウム病 キャサヌル森林病 コクシジオイデス症 西部ウマ脳炎 チクングニア熱 東部ウマ脳炎 日本脳炎 Bウイルス病 ベネズエラウマ脳炎 ボツリヌス症 ライム病 類鼻疽 ロッキー山紅斑熱	-	3
	エキノкокクス症	-	-	-		-	-	-		-	-
	オムスク出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	Q熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	サル痘	-	-	-		-	-	-		-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-		-	-	-		-	-
	つつが虫病	-	3	1		-	-	7		-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-		-	-	-		-	-
	日本紅斑熱	-	3	-		-	-	-		-	-
	鼻疽	-	-	-		-	-	-		-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-		-	-	-		-	1
	マラリア	-	-	-		-	-	-		-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-		-	-	-		-	-
	レジオネラ症	-	36	19		-	-	-		-	-
五類	アメーバ赤痢	-	10	13	ウイルス性肝炎*3 クロイツフェルト・ヤコブ病 ジアルジア症 梅毒 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	9	7	急性脳炎*4 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 髄膜炎菌性髄膜炎 破傷風 風しん	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-		-	2	1		-	1
	後天性免疫不全症候群	-	14	22		-	2	5		-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-		-	9	9		-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-		-	-	3		-	1
	麻しん	-	4	3		-	-	-		-	-

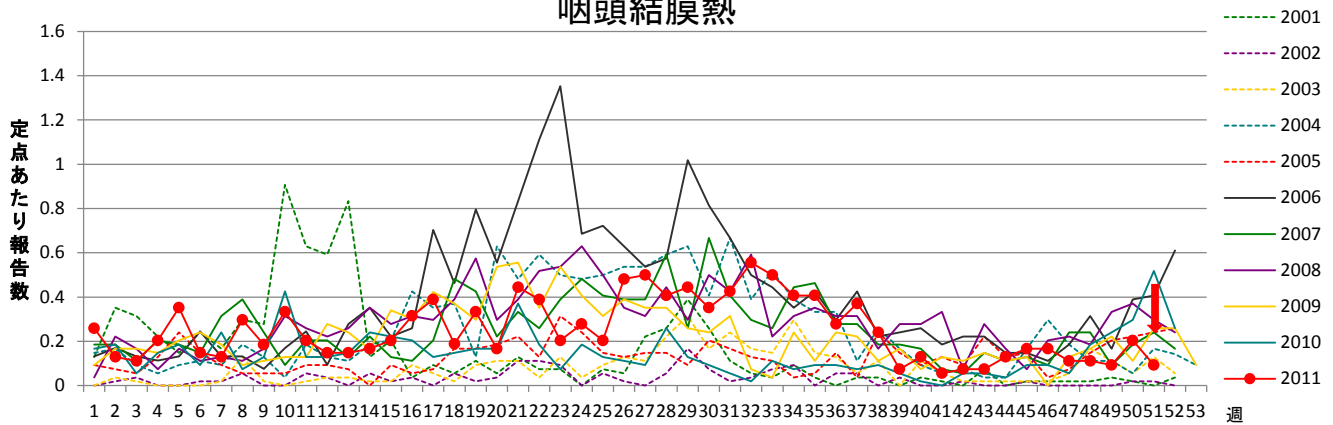
インフルエンザ



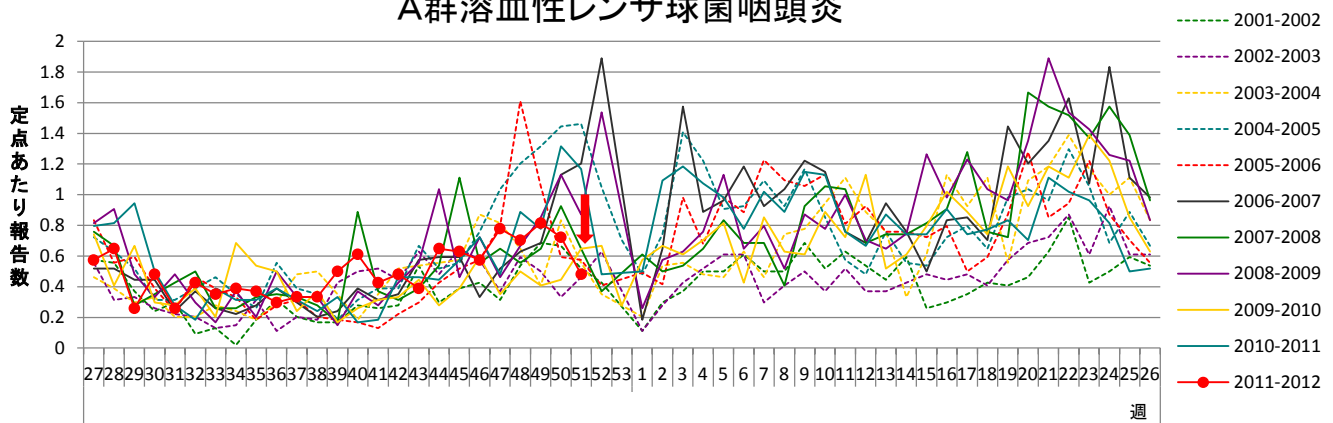
RSウイルス感染症



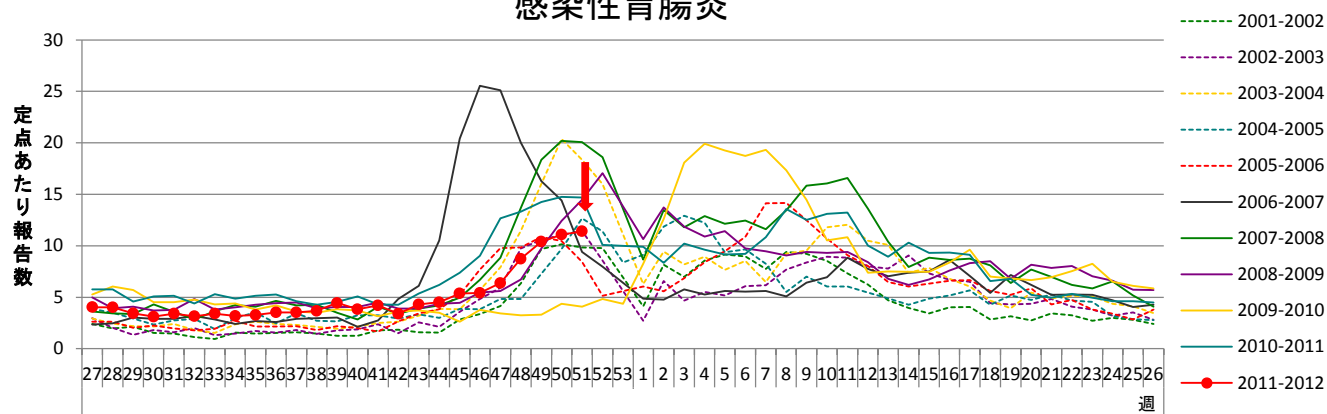
咽頭結膜熱



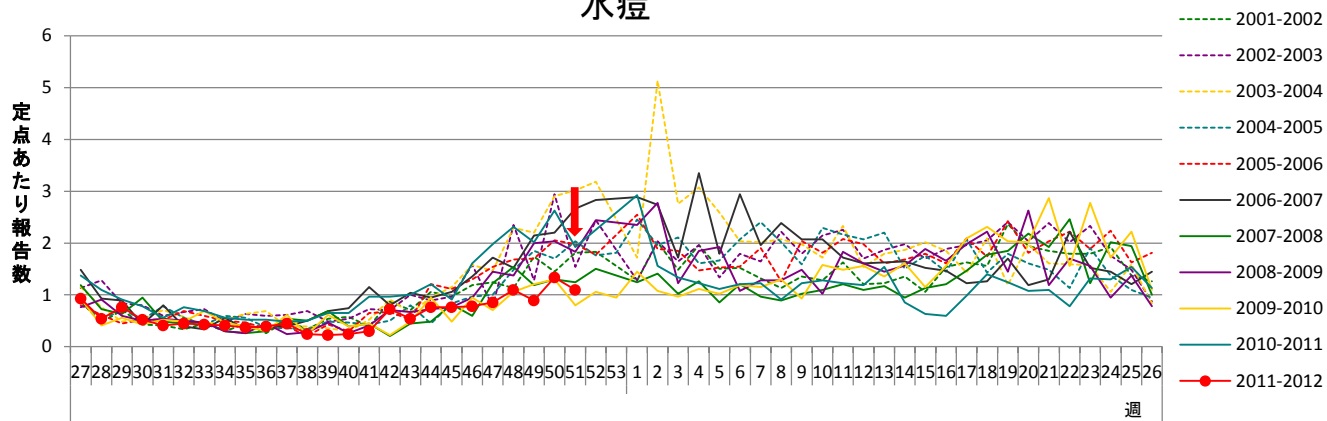
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



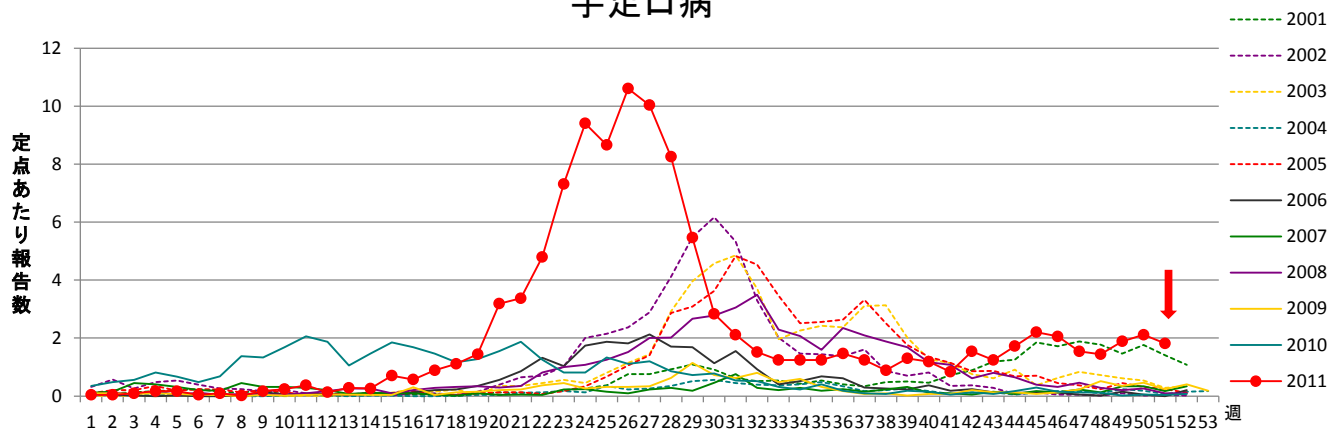
感染性胃腸炎



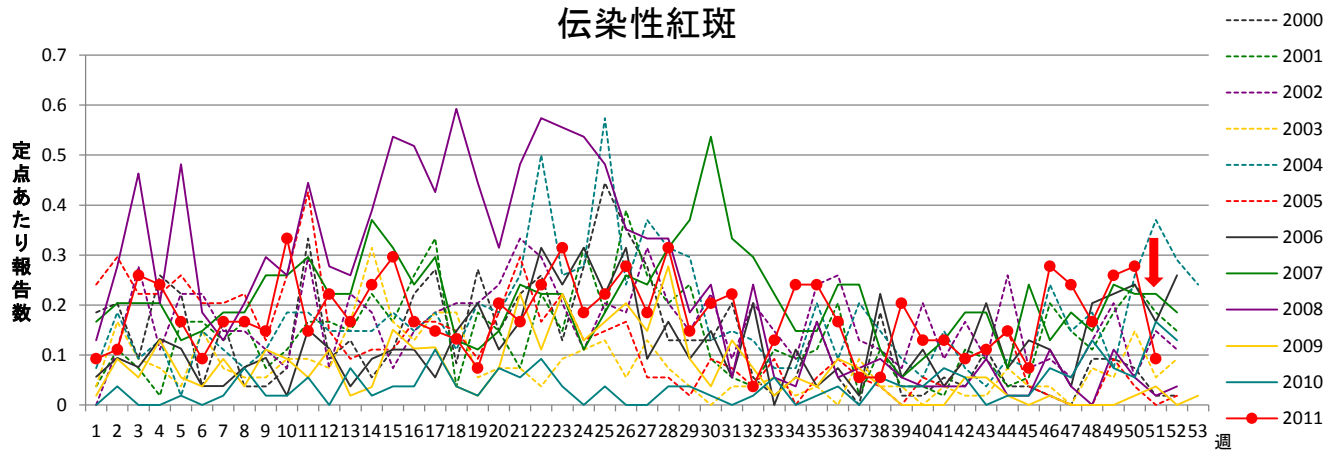
水痘



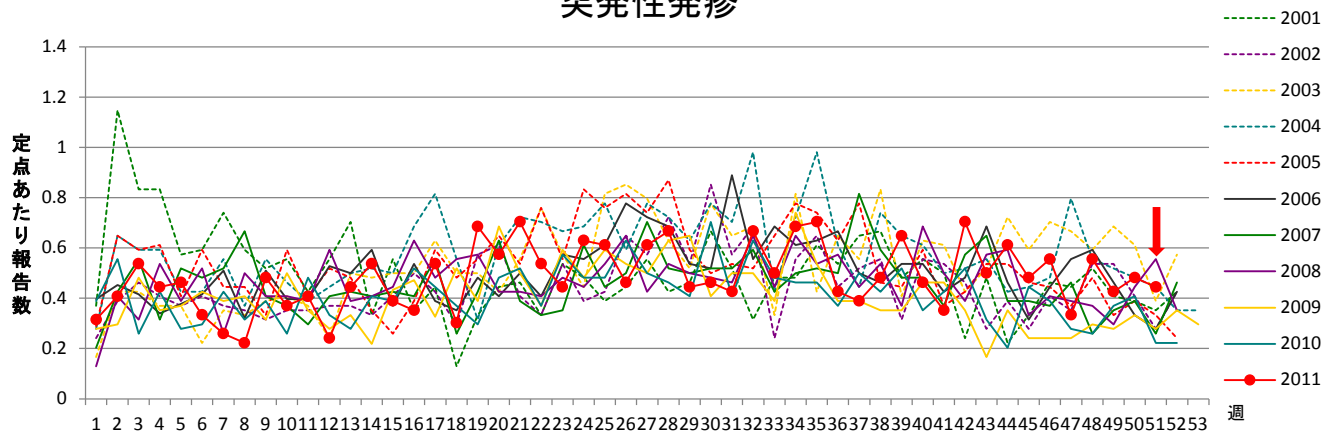
手足口病



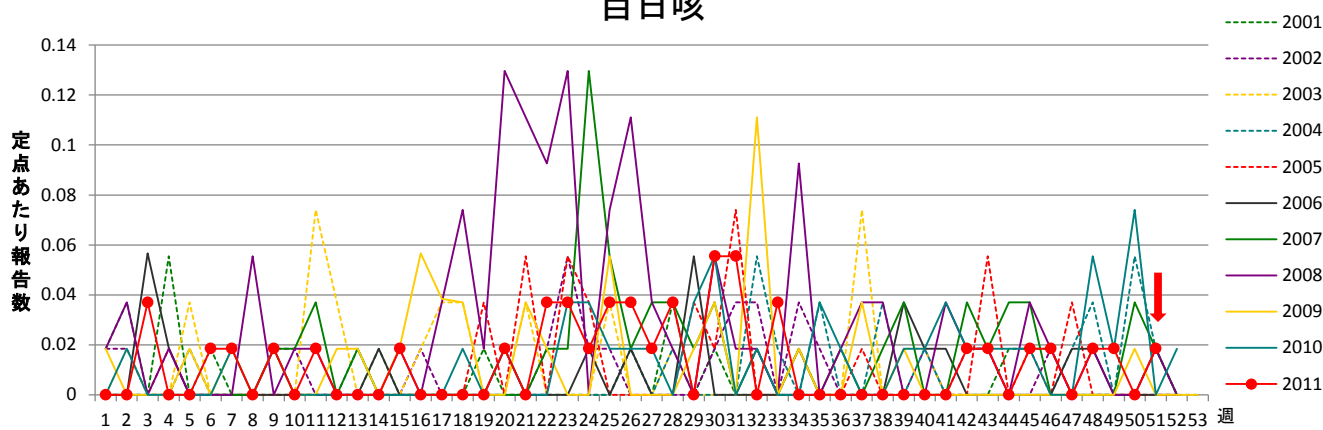
伝染性紅斑



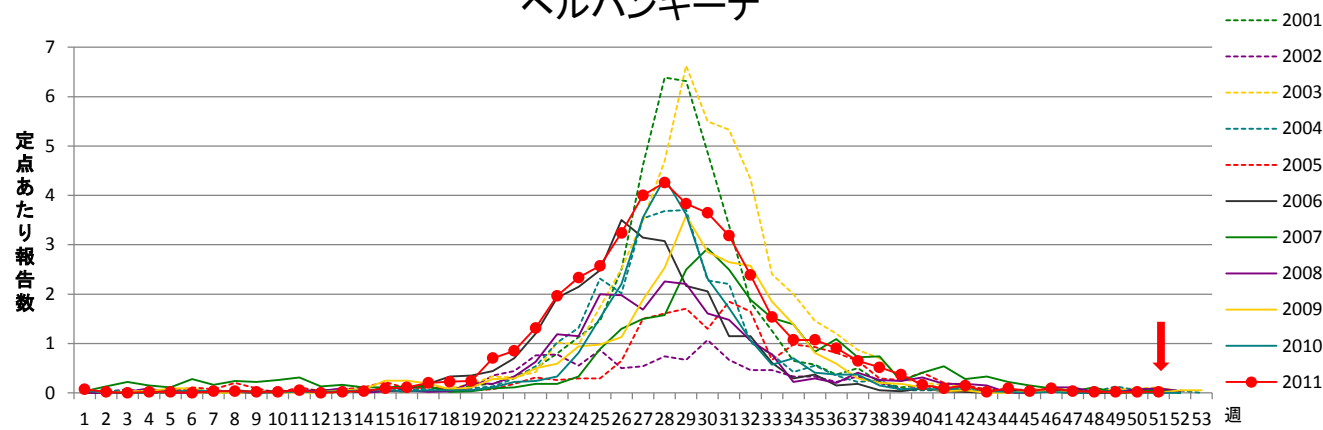
突発性発疹



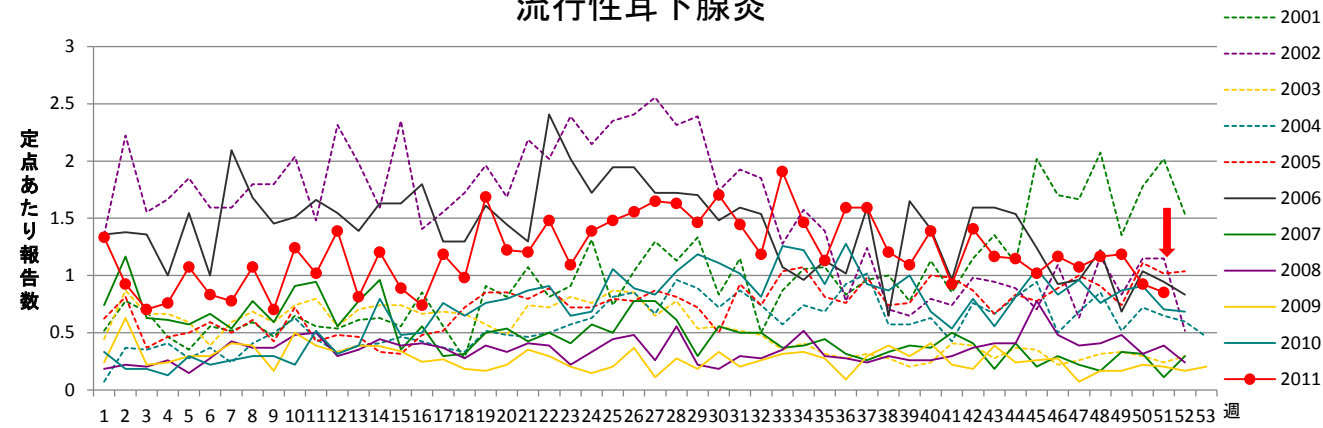
百日咳



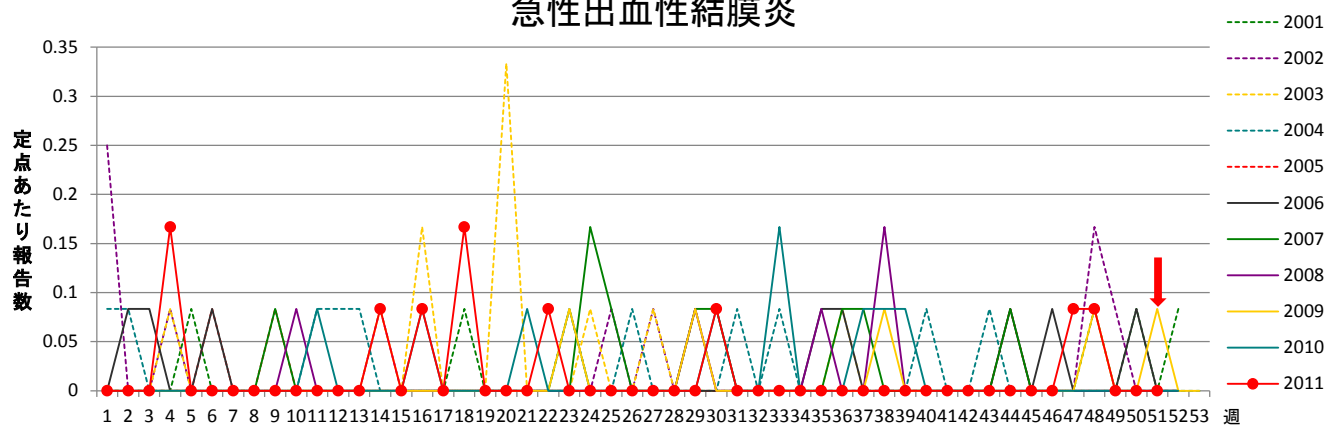
ヘルパンギーナ



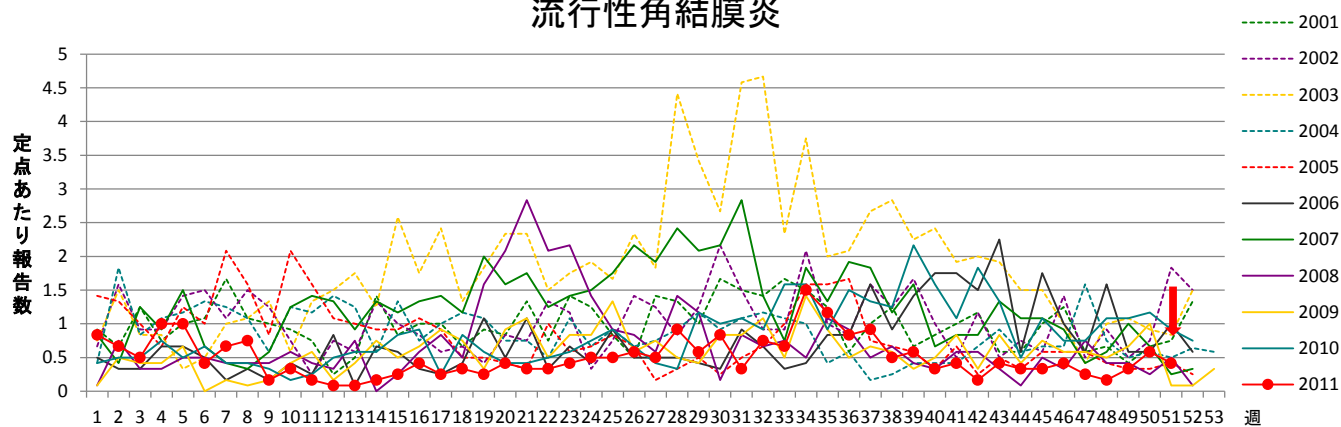
流行性耳下腺炎



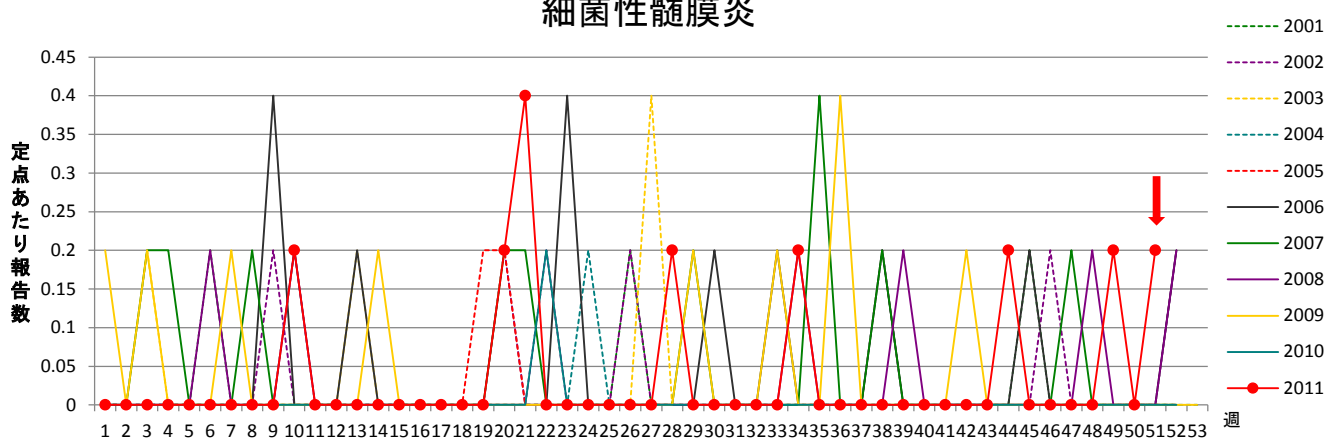
急性出血性結膜炎



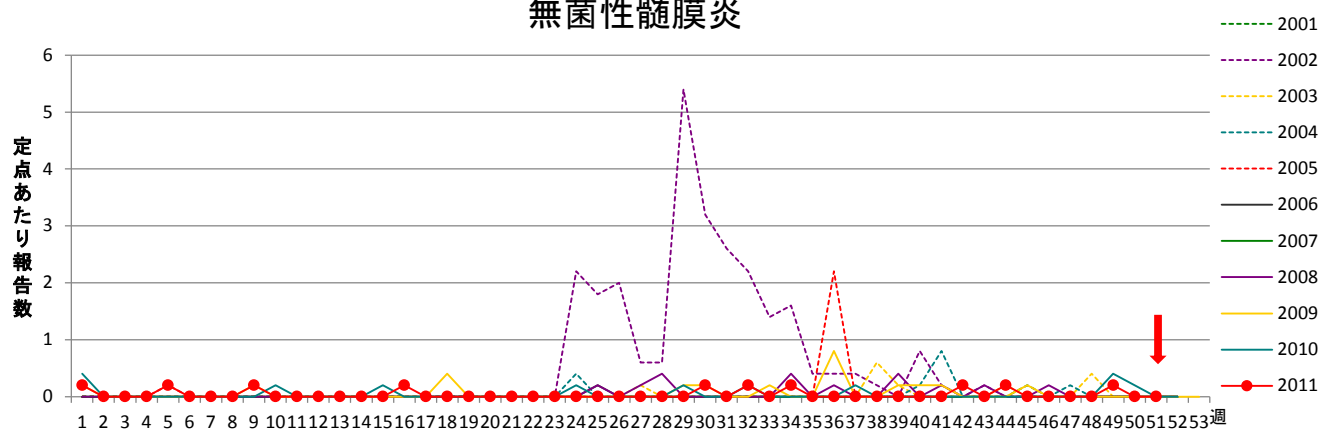
流行性角結膜炎



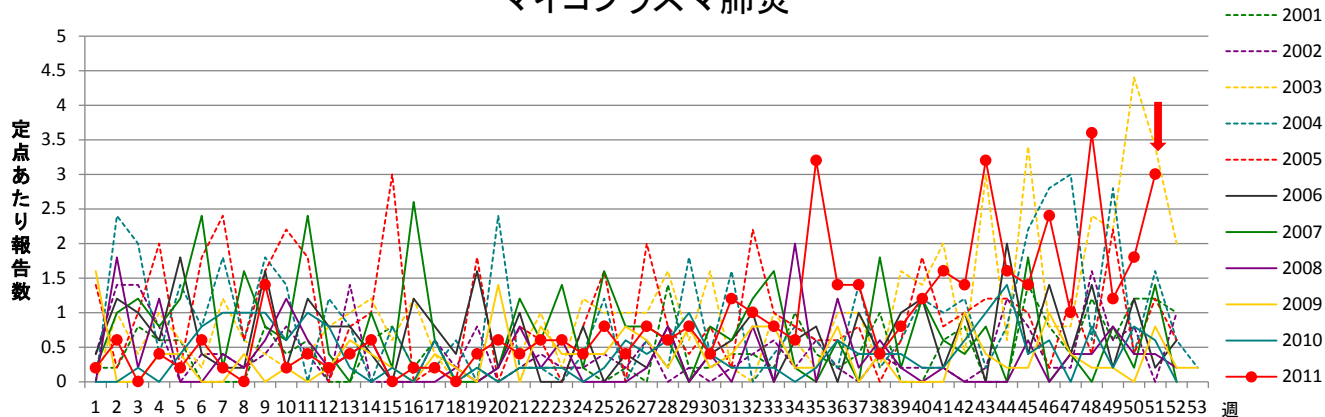
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

